

京の長寿同族経営紹介

龍大研究者ら書籍出版

思いや改革伝える

同族経営の長寿企業を紹介する書籍を出版した龍谷大の辻田教授(左)と白須さん

＝京都市下京区



龍谷大の研究者らが、同族経営で長く事業を続けてきた京都の「長寿ファミリービジネス」に関する書籍を出版した。伝統産業や航空部品など多様な業種の9社を取り上げ、地域の産業史も交えて経営者の思いや改革の取り組みを伝えている。

「長寿ファミリー企業のアントレプレナーシップと地域社会」。京都の老舗研究に取り組み龍谷大の辻田素子経済学部教授や松岡憲司名誉教授(故人)、京都市役所出身で3月未まで同大学の教授だった白須正さんらのグループが執筆した。同族経営は「前近代

的」と批判されることもあるが迅速な決断が可能といった利点があり、欧米で評価が高まっているという。研究グループは、革新的な経営を行う企業を対象に京都市が認定しているオスカー企業の中で創業100年を超える同族企業を調べた。

著書では、黒染め技術を生かして衣類の再生に取り組み京都紋付(中京区)や、獣害防止ネットで経営を立て直した近江屋ロープ(下京区)、明治期に京都で盛んになった伸銅業向けの機械製造を手掛け、近年は航空機部品に参入したKOYO熱練(南区)などを取り上げている。次世代に事業を継承するため、変革に取り組んだトップの思いなどを紹

経済情報、サイトで詳しく

京都新聞

ON BUSINESS



介している。

地域との関係も探り、業界の盛衰や経済団体でのつながりから新事業の着想を得た逸話などを掲載した。辻田教授は「事業承継が大きな課題となる中、企業経営者や経営支援に携わる人に参考にしてほしい」と話す。

全338頁。新評論刊、3080円。

(笹井勇佑)